【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和7年6月5日(2025.6.5)

【公開番号】特開2023-16757(P2023-16757A)
【公開日】令和5年2月2日(2023.2.2)
【年通号数】公開公報(特許)2023-021
【出願番号】特願2022-116079(P2022-116079)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｓ　7/03(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｓ　7/03　２３０

【手続補正書】
【提出日】令和7年5月28日(2025.5.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
様々な実施形態（１０、５０、６０）でのレーダセンサのラインナップであって、各レーダセンサが、
レドーム（１４）によって閉じられたハウジング（１２）と、
前記レドーム（１４）とは反対側に少なくとも１つの高周波モジュール（２２）とともに実装されている回路板（１８）と、
前記レドーム（１４）に面する前記回路板（１８）の側にあるアンテナ構造と
を備える、レーダセンサのラインナップにおいて、
前記ハウジング（１２）が、すべての実施形態（１０、５０、６０）において同一に構成されており、前記アンテナ構造が、少なくとも１つの実施形態（５０）において平面アンテナ構造（５２）を、少なくとも１つの実施形態（１０）において導波路構造（３８）を備える、
__ことを特徴とするラインナップ。
【請求項２】
すべての実施形態（１０、５０、６０）における前記レーダセンサが、制御機器とのデータ交換のために同一に構成されたインターフェース（３６）を備える、請求項１に記載のラインナップ。
【請求項３】
すべての実施形態（１０、５０、６０）における前記レーダセンサが、前記ハウジング（１２）の内部に同一に構成された熱拡散板（２８）を備える、請求項１に記載のラインナップ。
【請求項４】
前記導波路構造（３８）が単層導波路構造である、請求項１に記載のラインナップ。
【請求項５】
平面アンテナ構造（５２）を有する少なくとも１つの実施形態（５０’、５０’’）において、前記ハウジング（１２）内で前記回路板（１８）と前記レドーム（１４）との間の空間に、吸収体または遮蔽構造（５８、５８’）が配置されている請求項１に記載のラインナップ。